～～第８０６７回～～
鬼ヶ岳
～Ｈ２８．１１．２０
前日の雨も上がりからりと晴れ上がる。車2台で静岡6時出発。朝霧道路から見る富士山は、前日に降った雪をかぶり背後から昇る太陽と見事な調和である。7時半に西湖漁眠荘前駐車場着。10数台駐車可能だがすでに半分近くが埋まっている。漁眠荘前を通る車道を奥へ少し歩き、キャンプ場近く東入川を渡ったところの道標を確認し右折。川沿いの道をしばらく歩くと、堰堤が現れる。二つ目の堰堤を右手から越えて沢沿いの山道に入る。桧林の中、道をジグザグに登っていく。木々の落ち葉が降り積もっていて歩きやすい。カラマツの樹々が現れるとそのあとは徐々に急登となっていく。落葉した木々の間から、そして岩を登り切り前が開けたところに出ると、素晴らしい雲一つ掛かってない富士山が見えてきた。残念ながら富士山の上には太陽、写真を撮っても写りはくっきりとはいかない。ロープも現れ急登を登っていくと、突然と言っていいくらい雪頭ヶ岳の草原に到着。富士山の眺望がすばらしく、眼下に広がる西湖・根場の集落と相まって素晴らしい景観。眺めは尽きず時間の経過を忘れてしまう。「お花畑」の看板もあり、夏には花々が咲き乱れていることだろう。昼食にはまだ早いので、鬼ヶ岳方面へ進んでいく。いったん下って登り返す道となる。ロープ・ハシゴがかかっていて、本日のルート中では最も緊張する場所であった。ハシゴの急登を越えてすぐに鬼ヶ岳山頂到着。鬼の角のような岩が一本突き出ていて山頂は狭い。ここへは東の十二ヶ岳・節刀ヶ岳方面からの縦走路も合流。甲府盆地の周辺の山々の大展望が広がっている。雪をかぶった南アルプス赤石岳、少し離れて北岳・甲斐駒ケ岳方面の山並み、八ヶ岳。さらには瑞牆・金峰方面も眺めることができる。その前に広がる白いじゅうたん様の雲海が幻想的で一枚のパノラマのようだ。尾根道をいったんロープを伝い急降下し、木々の間に場所を見つけて昼食とした。西方面の尾根筋道はところどころ大きな岩を巻いて進む。鍵掛峠へ着くと、そこからは根場への道をひたすら下っていく。道もしっかりしている。よく踏まれていて歩きやすい。しかし、落ち葉が深く降り積もっていて、その下に隠れている石や木の根っこには注意が必要。ブナの原生林も現れ、紅葉もちょうど見ごろで気持ちよい下山が楽しめた。林道に出て、林道歩きすること20分、移築した古民家が現れると、そこはいやしの里根場。この周辺のモミジやカエデの紅葉もちょうど見ごろ、大勢の観光客でにぎわっていた。いやしの里根場を通り過るとすぐに駐車場到着。近くの「いずみの湯」で汗を流し、さっぱりとして静岡へ。秋の日の素晴らしい好天の下、素晴らしい富士山の山容、またと見ることのできない甲府盆地の雲海、南アルプスの眺望等々、満足度120パーセントの山歩きであった。
参加者：8名
コースタイム；静岡600＝西湖漁眠荘前駐車場730-40…雪頭ヶ岳1010-20…鬼ヶ岳1040-50…鞍部にて昼食1100-25…鍵掛峠1220…ブナ原生林1240…根場1335…駐車場

1345＝静岡 1700

記録：静岡北支部　望月

雪頭ヶ岳から望む西湖富士山

甲府盆地の雲海